

3月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆3月10日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



シングルマザーの会

◆3月20日(日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆3月19日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



男女共同参画のキーワード

<性別による無意識の思い込みチェックシート>

内閣府男女共同参画局では、令和3年9月30日公表した「令和3年度性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査結果」を基に、チェックシート・事例集を作成しました。

調査では、回答者全体の76.3%に、性別による無意識の思い込みが見られ、特に50代、60代の年齢層の割合が高いことが分かりました。50代、60代の年齢層は、職場においては経営層や管理職など業務を管理する立場にある方が多いと考えられます。職場でのチェックシートの結果が右のグラフです。(※家庭、教育もあり)

現在では、標準世帯と呼ばれる専業主婦世帯が多かった昭和の時代と、共働き世帯が専業主婦世帯の2.5倍以上となった現在において、昭和の時代と同じ人事管理、業務管理を行うことは、環境の変化に対応できていないとも言えません。例えば、人事担当者が、「男は仕事、女は家庭」という思い込みで、社内結婚した社員について、育児期間中の女性は育児に配慮したポストに配置するが、育児期間中の男性は育児期間中であることを考慮しないポストに配置するといった人事運用をしていると、当該社員の家庭内における家事・育児負担が、女性側に偏り、結局は女性が育児を一手に担うことにつながります。(参考資料: 内閣府発行「共同参画2月号」)

3月さんかく交流サロン

「自分で出来るハンドマッサージ」
 ◆3月17日(木) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室2
 参加費: 無料 定員: 10人



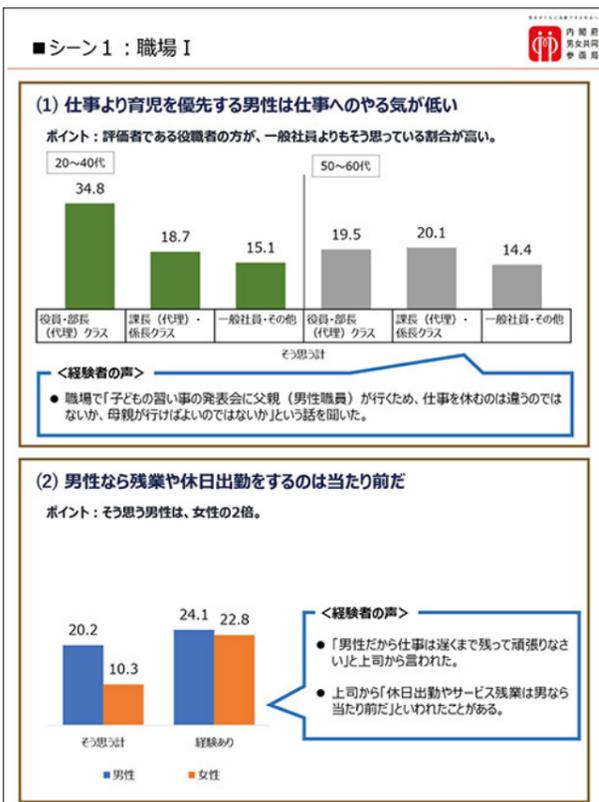
人生100年時代のベストライフ講座

「オンライン学習の”いろは”を学ぼう!」
 ◆①3月11日(金) ②3月17日(木)
 各回とも 13:30~15:00 (パソコンとイヤホン持参)
 講師: 太田和人さん(パソコンインストラクター)
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料 定員: 10人
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



利用者懇談会 & 登録団体交流会

◆3月19日(土) 13:30~15:00
 内容: 一般市民・登録団体の方が交流します。
 場所: 参画センター学習研修室1・2
 参加費: 無料
 託児: あり(1週間前までに要予約)



2月の行事から

2/12

だれもがいきいき参画講座 — 世界市民 (Citizen)としての生き方

参加者: 40人 (うち zoom 23人)
 場所: 学習研修室 1・2・3
 講師: ギド・カルデリニさん(香川県国際交流員)
 企画: 香川 SGG(善意翻訳の会) 通訳: 三橋肇子さん
 アルゼンチン生まれ。14歳の時にカナダに移住。オタワ大学で生物化学と政治哲学、英語、フランス語等を学ぶ。2012年に初来日し、今回は3回目。ギドさんは、「講演は大好き。皆さんの声を聴いてさらに視野を広げることができるから」と。会場から「どうすれば外国語が向上できる?」の質問に、「語学は情熱があれば続けられ好きな映画や本等で楽しみながら学ぶ方法もある」と答え

「今は毎日がチャレンジ。日本の社会に貢献していきたい」とも述べられた。(参加者の感想)「多文化への理解の取組のための貴重なアドバイスがたくさんあった」「ハイレベルで大きな刺激を受けた。難しいので、あまり自分のこととしては理解できないが、世界の先端のような感じで興味深かった」「海外の情報を知れて、勉強になった」「いろいろな勉強を極めることは大切だと思った」等。



17-24

第1回・第2回 生き残るための防災力アップ講座

参加者: 第1回 30人・第2回 25人 場所: 学習研修室 1・2・3
 講師: 岩原 廣彦さん(香川大学創造工学部客員教授)
 今回の講座は3回シリーズ。第1回目は、「自分と家族の最適な備えを考える~居住地・マンション・一戸建てで備えは変わる~」第2回目は、「人それぞれで変わる避難の在り方~たとえば、在宅避難か避難所か~」がテーマ。3回目は「多発する自然災害から命を、守る行動を!」で、3月の予定。

(第2回目・参加者の感想)
 「備えあれば憂いなし。物品などの備えだけでなく、知識や心構えの備えも必要であると実感しました。知識と意識の備えもあれば、より憂いなし。今後の防災士の活動を活かしていかなければと考えます」
 「住んでいるところが賃貸アパートで、地元でもなく、自治会に入っていないので、避難について無知だと痛感した」等。

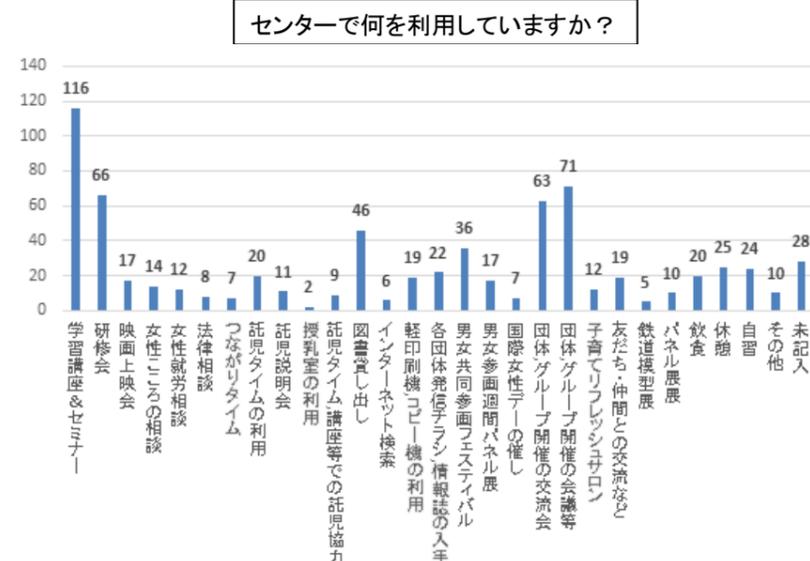


トピックス

参画センター利用者アンケートの集計から

令和3年度高松市男女共同参画センターについてのアンケート調査結果報告 II (令和3年9月~12月)

アンケート回答数: 355人



参画センターの情報は何から得ていますか?

